



2022

第75期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

ティアック株式会社

証券コード:6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2022年9月30日をもちまして、第75期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
英 裕治
Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって景気が持ち直していくことが期待されますが、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちハイエンドオーディオ機器事業は、次世代アンプのラインナップ拡充と新規ターンテーブルカテゴリーへの挑戦で更にブランド価値を高め、海外市場を伸ばす事で堅実な成長路線を引き続き目指します。プレミアムオーディオ機器事業は、引き続き中高級機のReferenceシリーズの更なる強化と、特色のあるアナログ製品や、すべてのカテゴリーにおいて新製品が競合に比べ常に個性的な価値を持つ事を目指し、収益とブランドイメージの向上に努めます。音楽制作・業務

用オーディオ機器事業は、ミュージシャンや動画制作者などのクリエイター向け商品群の販売に注力しBtoC市場のシェア拡大を目指します。BtoB市場においては、新製品のデジタルミキサーの上市により、従来の録音再生機や各種周辺機器とともに、更に柔軟で質の高いトータルシステムソリューションを提供し市場シェアの拡大を目指します。情報機器事業は、当社のコアコンピテンスである「高度な記録と再生技術」をベースに計測、半導体、医療、移動体の各分野において最先端技術を組込んだ製品開発を行い、ニッチトップポジションの獲得を進めます。特に今年度は、新たに開発した4Kメディカルレコーダーの積極的な海外市場開拓に、資源を投入してまいります。

当中間期におきましては、半導体を中心とした電子部品の調達難と中国・北米両岸における混乱に伴う輸送期間長期化の影響を受けたものの、コロナ禍において低調に推移していたBtoB事業が回復傾向にあることから、売上収益および営業利益は増加しましたが、為替相場の変動に伴い為替差損を1億7千万円計上し

たことから、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比較して減少しました。この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上収益は76億1百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は2億7千8百万円(前年同期比59.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3千1百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

通期の業績見通しについて

当社のBtoC事業は第3四半期、BtoB事業は第4四半期にそれぞれの需要期を迎えることから、当社グループの業績は、売上、利益ともに下半期に偏重する傾向があります。

2023年3月期の連結売上収益は161億円、営業利益4億3千万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は2億円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

連結業績ハイライト(国際会計基準)

	第73期 2021年3月期	第74期 2022年3月期	第74期(中間) 2021年9月期	第75期(当中間) 2022年9月期
売上収益(百万円)	14,589	16,004	7,274	7,601
営業利益(百万円)	508	654	175	278
税引前当期利益(百万円)	342	481	52	34
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	301	392	36	31
基本的1株当たり当期利益(円)	10.45	13.60	1.25	1.08
資産合計(百万円)	9,651	10,081	9,766	11,606
資本合計(百万円)	1,844	2,468	1,926	3,003

音響機器事業 63.1%

売上収益 4,793百万円
(前年同期比 4.0%減)

セグメント営業利益 373百万円
(前年同期比 31.4%減)

ハイエンドオーディオ機器 (ESOTERICブランド) は、国内市場では新型コロナウイルスの感染拡大における社会的な規制が徐々に解除され引き合いも増えてきました。さらにブランド創設35周年記念のターンテーブルやパワーアンプなどの新製品が上市されました。一方、海外市場は景気後退による消費マインドの後退や中国市場のゼロコロナ政策の影響で苦戦しましたが、全体ではわずかに増収となりました。

プレミアムオーディオ機器 (TEACブランド) は、国内海外市場双方におきましてコロナ禍における巣ごもり需要は一段落しました。またウクライナ危機やインフレ圧力による景気後退懸念が特に欧州を中心に直撃し普及価格帯の製品の売上げが減少した結果、全体で減収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、BtoB事業において、設備市場での需要回復が継続し定番商品の販売が安定している事に加え、品不足だった一部製品の供給再開による受注残消化が進んだこと、更には業務用デジタルミキサーの新製品効果もあって好調な販売となりました。一方でBtoC事業は、供給増による受注残消化も進みましたが、前年活況であった巣ごもり需要の反動減と一部製品における供給不足の継続により販売は低調に推移しました。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては僅かながら減収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業 26.5%

売上収益 2,015百万円
(前年同期比 32.4%増)

セグメント営業利益 136百万円
(前年同期比 553.4%増)

機内エンターテインメント機器は、国内市場は依然コロナ禍の影響があるものの、保守サービスを中心に販売を積み重ねたことで堅調に推移しました。海外向け販売は既存顧客向けに大口の保守用部品の出荷があり好調に推移、結果として同部門では前年同期比で増収となりました。

計測機器関連は、データレコーダーは国内市場での不調を海外向け出荷で補う結果となり、堅調に推移しました。センサー関連は、好調の半導体製造装置市場全般で出荷増となりました。特に大手プローブ装置メーカーへの出荷が大きく伸び、結果として、計測機器全体では前年同期比で大幅な増収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内の消化器内視鏡向けレコーダーの販売が好調に推移、手術画像用レコーダーに関しても国内・海外共に好調を維持しました。急激な円安と部品調達難による製造原価増には出荷価格の見直しにて対処し、結果として同部門全体では前年同期比増収となりました。

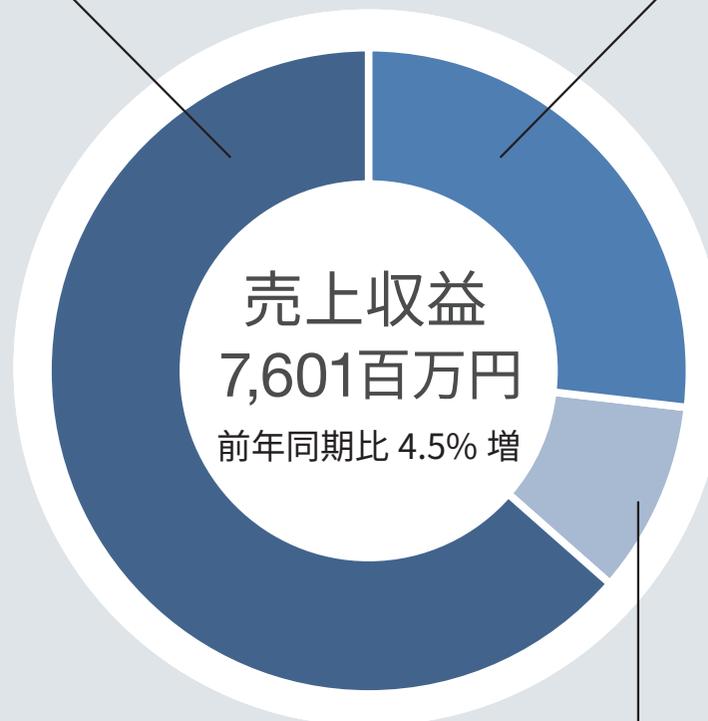
ソリューションビジネスは、大口取引先へのサービス業務停止による減収の影響はあったものの、大型受託開発案件を予定通り納入させた事、また医用向けサーバー及びPCの出荷が増えたことで堅調に推移しました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- 医用画像記録再生機器
- ソリューションビジネス

オリジナルブランド

TEAC

- EMS 事業
- 産業用光ドライブ



その他事業 10.4%

売上収益 793百万円
(前年同期比 4.3%増)

セグメント営業利益 201百万円
(前年同期セグメント営業利益 82百万円)

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前期
	2022年 9月30日現在	2022年 3月31日現在
■ 資産		
流動資産	9,886	8,210
現金及び現金同等物	1,739	1,304
営業債権及び その他の債権	2,871	3,154
棚卸資産	4,998	3,400
その他の流動資産	278	352
非流動資産	1,720	1,870
有形固定資産	1,357	1,513
無形資産	135	147
繰延税金資産	27	15
その他の金融資産	137	135
その他の非流動資産	64	60
資産合計	11,606	10,081

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前期
	2022年 9月30日現在	2022年 3月31日現在
■ 負債		
流動負債	6,430	5,872
社債及び借入金等	3,030	2,467
リース負債	164	312
営業債務及びその他の債務	1,798	1,458
引当金	661	693
未払法人所得税	12	44
その他の流動負債	766	878
非流動負債	2,172	1,761
社債及び借入金等	1,189	619
リース負債	42	68
長期未払金	793	920
退職給付に係る負債	73	76
引当金	43	43
繰延税金負債	17	16
その他の非流動負債	16	19
負債合計	8,603	7,613
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	3,003	2,468
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	11	11
自己株式	△ 122	△ 123
利益剰余金	1,840	1,809
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	1,204	701
資本合計	3,003	2,468
負債及び資本合計	11,606	10,081

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	2022年4月1日~ 2022年9月30日	2021年4月1日~ 2021年9月30日
売上収益	7,601	7,274
売上原価	4,254	4,138
売上総利益	3,347	3,135
販売費及び一般管理費	3,120	2,981
その他の損益	51	20
営業利益	278	175
金融収益	2	1
金融費用	247	124
税引前四半期利益	34	52
法人所得税費用	2	16
四半期利益	31	36
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者	31	36
非支配持分	—	—

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	2022年4月1日~ 2022年9月30日	2021年4月1日~ 2021年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 474	△ 925
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 62	△ 66
財務活動による キャッシュ・フロー	902	80
現金及び現金同等物に 係る換算差額	68	△ 3
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	435	△ 914
現金及び現金同等物 期首残高	1,304	1,869
現金及び現金同等物 期末残高	1,739	955

要約連結持分変動計算書 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計	
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益 剰余金 (IFRS移行時 の累積換算 差額)	その他の 資本の 構成要素			合計
当期首残高	3,500	11	△ 123	1,809	△ 3,430	701	2,468	—	2,468
四半期包括利益									
四半期利益	—	—	—	31	—	—	31	—	31
その他の包括利益	—	—	—	—	—	503	503	—	503
四半期包括利益合計	—	—	—	31	—	503	534	—	534
自己株式の取得	—	—	△ 0	—	—	—	△ 0	—	△ 0
自己株式の処分	—	—	1	—	—	—	1	—	1
当四半期末残高	3,500	11	△ 122	1,840	△ 3,430	1,204	3,003	—	3,003

* 連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 1 連結財政状態計算書

< 資産合計 >

現金及び現金同等物の増加435百万円、営業債権及びその他の債権の減少284百万円、棚卸資産の増加1,599百万円となり、前期末と比較し、1,525百万円の増加となりました。

< 負債合計 >

社債及び借入金の増加1,133百万円、リース負債の減少174百万円、営業債務及びその他の債務の増加340百万円となり、前期末と比較し990百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

< 売上収益、親会社の所有者に帰属する四半期利益 >

コロナ禍において低調に推移していたBtoB事業が回復傾向にあることから、売上収益および営業利益は増加しましたが、為替相場の変動に伴い為替差損を170百万円計上したことから、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比較して減少しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、営業債権及びその他の債権の減少額394百万円、営業債務及びその他の債務の増加額213百万円、マイナス要因としては、棚卸資産の増加額1,238百万円、長期未払金の減少額128百万円。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、短期借入金の増加490百万円、長期借入による収入696百万円、マイナス要因としてはリース負債の返済による支出195百万円。



ESOTERIC

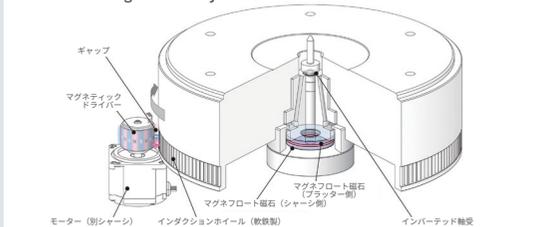
アナログ・ターンテーブル Grandioso T1

ESOTERIC 創立35周年を記念する、初のアナログ・ターンテーブル、『Grandioso T1』を2022年9月に販売開始致しました。フラッグシップ Grandioso シリーズの名を冠する製品にふさわしく、日本国内で特許を取得した非接触ドライブ方式『ESOTERIC MagneDrive System (特許No.6501130)』をはじめとして、『マグネフロート方式プлатター』、モータードライバーの『10MHzクロックシンク』など、革新的な技術を惜しみなく投入いたしました。

ESOTERIC MagneDrive Systemは、回転に磁力を使った非接触ターンテーブル駆動方式で、「アナログ再生におけるマスターサウンドの実現」という理念を実現させるため、プロジェクト始動から特許取得、実用化まで、5年以上の道のりを経て完成いたしました。

発売前から話題となり、日経産業新聞やBS TBSのBizスクエア、Bloomberg、Forbesなど内外の著名メディアにも取り上げられ、ご好評いただいております。

ESOTERIC MagneDrive System



TASCAM

デジタルミキサー TASCAM Sonicview シリーズ

TASCAMは50年を超える歴史の中で、ライブサウンド・放送・プロダクションスタジオ・設備音響等のプロオーディオ市場において、その高い音質と信頼性により世界中のエンジニアから絶大な支持を得て参りました。

この度、ブランドの強みである高音質・信頼性・レコーディング技術等を根幹に据えながら、ユーザビリティのノウハウを惜しみなく投入し、直観的な操作性、豊富な機能・拡張性等を実現した業務用デジタルミキサー「TASCAM Sonicviewシリーズ」を発売しました。放送局やPA市場への導入も進み、高い評価をいただいております。

各種音響システムの中核をなすデジタルミキサー市場への本格参入により、従来の録音再生機や各種周辺機器とともに、更に柔軟で質の高いトータルシステムソリューションを提供いたします。

24ch マイクプリアンプ/XLR入力搭載デジタルミキサー
TASCAM Sonicview 24



16ch マイクプリアンプ/XLR入力搭載デジタルミキサー
TASCAM Sonicview 16



16in/16out Dante
ステージボックス
SB-16D



TEAC

カラーグラフィックデジタル指示計 TD-9000T

2020年1月に販売開始した『TD-9000T』は、販売開始以来、順調に販売を増やしてきましたが、この度従来の標準モデル(RC-232C)に加え、CC-Linkモデル、EtherNet/IP™モデルの2機種を追加いたしました。様々なシステムに対応可能な通信オプションのラインナップが揃ったことにより、今後は国内のみならず、海外市場における需要開拓にも取り組んでいきます。

CC-Linkモデル、EtherNet/IP™モデルは、PLCにダイレクト接続ができるので低コスト・省リードタイムで生産現場への導入を実現することができます。

『TD-9000T』は、毎秒25,000回の高速度A/D変換、4.3型タッチパネルモニターを搭載し、思い通りの操作感と瞬時に状況を把握できる視認性を実現した、荷重(ロードセル)とストローク(変位計)の2入力に対応した荷重管理用デジタル指示計です。測定中の波形をリアルタイムで確認することができ、日常のモニタリングから加工データの検証まで、幅広く活用することが出来る、IoTに対応した高機能モデルです。

これからも、日々進歩するテクノロジーを捉え、現場の期待に応えることが出来る製品を提供してまいります。

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英 裕治
従業員数 単体 243名 連結 643名

● 国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックシステムソリューションズ株式会社 [東京都]

● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

役員

代表取締役社長 英 裕 治
取締役 野 村 佳 秀
取締役(監査等委員) 林 健 二
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二

株式の状況

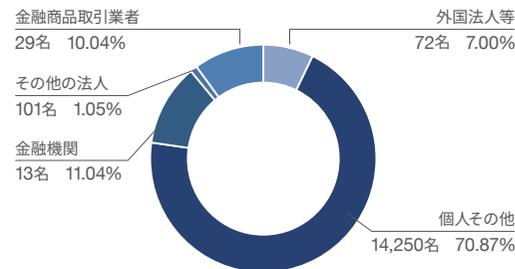
発行可能株式総数 … 40,000,000株
発行済株式の総数 … 28,806,865株
(自己株を除く)
株主数 ……………… 14,465名

大株主 (上位10名)

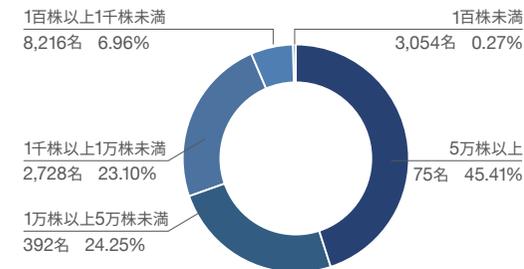
株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,236	7.76
楽天証券株式会社	1,546	5.37
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	669	2.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	599	2.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	357	1.24
株式会社SBI証券	333	1.16
ティアック社員持株会	232	0.80
亀井 佐和子	223	0.77
保母 伸子	216	0.75
佐野 弘長	214	0.74

※ 持株数は表示単位未満、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※ 持株比率は、自己株式(124,848株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日網町1-1
TEL 0120-232-711(通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第一部
公 告 の 方 法 電子公告により行う。
公 告 掲 載 URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

- 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。
当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。



- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711<通話料無料>)にお問合せください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>